

土砂災害 ハザードマップ

金井神、日の出町地区



我が家の防災メモ

避難場所

地区(自主防災組織)の避難場所	
市の指定する避難場所	

家族の連絡先

名 前	血液型	会社・学校等	電話番号

避難行動について

※土砂災害は、突発性が高く、発生時期の予測が難しい災害です。
もし発生すれば、生命を脅かす可能性が高いため、市では早め早めの避難を呼び掛けます。

避難情報の種類

情報の種類	発令時の状況	住民に求める行動
避難準備・高齢者等避難開始	◎大雨警報が発表され、更に大雨が降り続けている状況。主要道路の浸水や土砂災害発生危険性が高まっている状況。	◎高齢者、病人、障がい者は支援者とともに避難所へ早めの避難。 ◎非常持出袋を用意するなどいつでも避難できるように準備。
避難勧告	◎「土砂災害警戒情報」が発表されている状況。土砂災害の前兆現象が発生しているような状況。	◎避難所へすみやかに避難を始める。
避難指示(緊急)	◎避難勧告発令から更に大雨が降り続けている状況。実際に土砂災害が発生している状況。	◎いまだに避難していない人は直ちに避難を始める。 ◎避難の時間的な余裕がない場合は生命を守る最低限の行動をする。

- ・市全域に発令することもあるが、対象地区だけに発令する場合もあります。
- ・避難情報を発令する際には、開設する避難所もあわせてお知らせします。

警戒区域内の住民の皆様を求めること

降雨時に、前兆現象や土砂災害の発生を確認した場合、即座に避難をすること。
避難準備情報が発令された段階で、各人が判断して立ち退き避難を検討すること。

避難の考え方

避難＝必ず外に出る ではありません！

「避難行動」＝「避難場所への移動」が一般的かと思いますが、それを含む以下のすべての行動が避難行動となります。

- ①避難場所への移動
- ②安全な場所(公園、親戚や友人の家等)への避難
- ③近隣の強固で高い建物への移動
- ④建物内の安全な場所(斜面と反対側の2階以上の部屋等)への退避

※土砂災害では①②の避難方法が基本となります。
③④は危険が迫っていて時間的に余裕がないときの手段です。



避難基礎知識

動きやすく安全な服装で

ヘルメットで頭部を保護しましょう。荷物は背負い、両手が使えようにしましょう。
長靴はダメ、水が入ると動けなくなります。



隣近所で声を掛け合って

避難は2人以上で。隣近所を誘って集団で避難しましょう。特に子どもや高齢者に声がけをおねがいします。



足元に注意

水の深さに注意する。水の流れる場合はさらに注意が必要。水があふれたときは、マンホールや側溝、石などが危険。杖や長い棒で進行方向を確認しながら歩くようにしましょう。



雨の強さと降り方の目安

1時間雨量(mm)	予報用語	降り方のイメージ	屋外の様子	災害発生状況
 10~20	やや強い雨	ザーザーと降る	地面一面に 水たまりができる	この程度の雨でも長く続く時は 注意が必要
 20~30	強い雨	どしゃ降り		側溝や下水、小さな川があふれ、 小規模の崖崩れが始まる。
 30~50	激しい雨	バケツをひっくり 返したように降る	道路が 川のようになる	山崩れ・崖崩れが起こりやすくなり 危険地帯では避難の準備が必要
 50~80	非常に 激しい雨	滝のように降る	水しぶきで あたり一面が 白っぽくなり、 視界が悪くなる	マンホールから水が噴出する、 多くの災害が発生する。
 80~	猛烈な雨	圧迫感がある。 恐怖を感じる		大規模な災害の発生する おそれが強く、厳重な警戒が必要

気象情報の基礎知識

土砂災害に関する気象情報(山形地方気象台発表)



大雨注意報 災害が発生するおそれがある場合に発表

大雨警報 重大な災害が発生するおそれがある場合に発表
※雨が止んでも、土砂災害の恐れが残っている場合は継続される

土砂災害警戒情報 土砂災害発生の危険性が高まったときに県と気象台が合同で発表
※市ではこの情報を基準として、避難に関する情報を発令します。
土砂災害発生の可能性が非常に高まっている状態です。

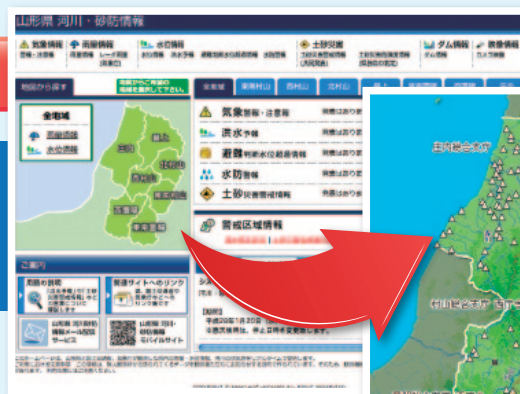
大雨特別警報 数十年に一度の規模の大雨となる場合に発表

情報収集はこちらのHPから！

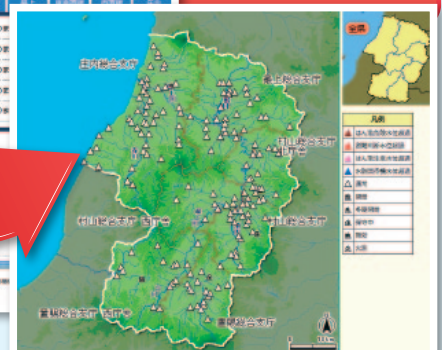
【山形県 河川・砂防情報】

<http://www.kasen.pref.yamagata.jp/>

観測地点ごとの雨量や河川の水位、気象警報・注意報その他、気象に関する様々な情報を入手できます。



▲山形県河川・砂防情報
トップページ



▲山形県の雨量・水位情報

各機関・施設等
連絡先一覧

施設名	電話番号	所在地
長井市役所	84-2111	長井市ままの上5-1
長井市建設課	87-0862	長井市高野町2丁目3-1
長井市上下水道課	88-4220	長井市平山4073-1
西置賜行政組合消防本部	88-1212	長井市平山4460
長井警察署	84-0110	長井市小出3743-3
長井警察署あやめ交番	84-3200	長井市栄町11-11
置賜総合支庁西庁舎	88-8200	長井市高野町2丁目3-1
東北電力コールセンター	0120-175-366	停電・緊急時のお問合せ

情報の入手

雨が強くなってきたときは、テレビ、ラジオ、インターネット等で、気象情報・避難情報等を積極的に入手しましょう！

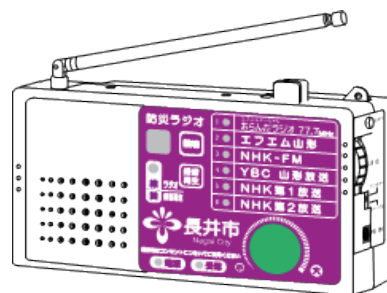
長井市の防災情報の伝達方法



長井市防災ラジオ

【特別な機能】

おらんだラジオ（77.7MHz）が発信する情報のうち、
市で指定する緊急度の高い情報を受信した際には、
自動的にラジオの電源が入り、最大音量で放送が流れます。



※緊急情報（ラジオが自動起動する情報）に該当するもの

- ①避難勧告など避難に関する情報
- ②緊急地震速報
- ③気象（大雨、暴風等）特別警報
- ④国民保護（武力攻撃、ミサイルなど）に関する情報
- ⑤その他の市民周知が必要な緊急情報や試験放送等

【試験放送について】

毎月「第3水曜日」と「第4水曜日」の10時30分に実施しています。

※ラジオが自動的に起動し、最大音量で放送が流れます。

○放送終了後は自動的に電源が切れます。

○日中不在で聞けない場合は、帰宅後録音されてるかを確認してください。

土砂災害ハザードマップについて

山形県では、土砂災害への注意が必要な区域として「土砂災害警戒区域」を指定しており、長井市では現在69箇所が指定されています。

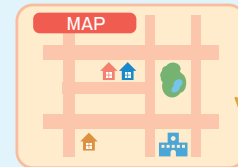
市では「土砂災害ハザードマップ」を作成し、区域内にお住まいの皆様へ情報を周知することにより、事前の防災対策・円滑な避難行動が実施されるよう支援します。

行政の「知らせる努力」と住民の皆様の「知る努力」によって、土砂災害による被害をゼロに出来るよう取り組みましょう。

ハザードマップを活用しよう！

●マップの活用方法

- ①地図面で、自宅の位置をチェックし、わかるように印をつけましょう。
- ②自宅周辺が土砂災害警戒区域に指定されているか、危険な箇所がないか確認しましょう。
※マップに記載されていないが、自身で把握している危険箇所があれば、書き込んでください。
- ③周辺にある避難施設を確認しましょう(市の指定する避難場所、地区の避難場所)
- ④避難場所までの避難ルートを想定しましょう。出来れば実際に歩いてみましょう。
※警戒区域に近づかないようなルートにすること。
- ⑤表紙の防災メモを記載して、家の中の見やすい場所に貼っておきましょう。



Q & A

Q1

この地図では、自宅が土砂災害警戒区域に入っているのかわからない(見えづらい)がどうしたらいいか。

A1

山形県のホームページでも、土砂災害警戒区域を確認することができます。より詳しく知りたい場合は、市総務課危機管理室にお問い合わせください。

警戒区域に入っていない＝土砂災害の危険性がないというわけではありません。
警戒区域外でも区域周辺は危険性があるものと認識し、前兆現象の発生に注意してください。

Q2

土砂災害をなくすための対策(工事等)は行われているのか。

A2

より危険性の高い区域、実際に災害が発生した区域を優先的に、工事が行われています。しかし、それには膨大な費用と日数がかかることもあり、全区域を早急に対策するのは難しい状況です。そこで、「命を守る行動」＝「避難行動」の一助としていただくため、このマップを作成しました。

Q3

土砂災害の危険性、避難の必要性がよくわからないのですが…

A3

土砂災害は突発性が高く、発生すれば人命を脅かす可能性の高い災害です。「生命を守る」という観点からすれば、危険性が高まったときには、「避難」することが1番の対策です。発生時期の予測が難しいことから、市では早め早めに避難所を開設し避難を呼び掛けます。最終的に「避難するかどうか」は皆様の判断になるわけですが、危険性が高まっていることを認識していただき、隣近所声をかけ合って避難行動をとっていただくようお願いいたします。

土砂災害とは

「土砂災害」は3つに分類され、主な発生原因として「大雨」「地震」「融雪」等があります。

土石流

多量の岩石や土砂が
増水した水と共に、
激しく押し流される現象

急傾斜地の 崩壊 (がけ崩れ)

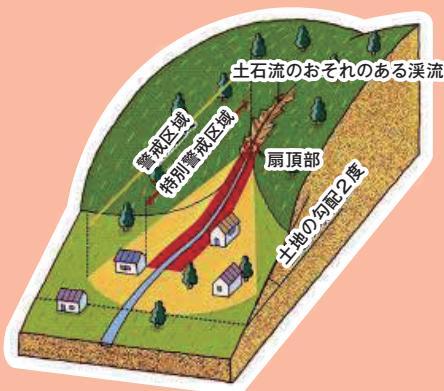
雨や地震などの影響で
地盤が緩み、急激に斜面が
崩れ落ちる現象

地滑り

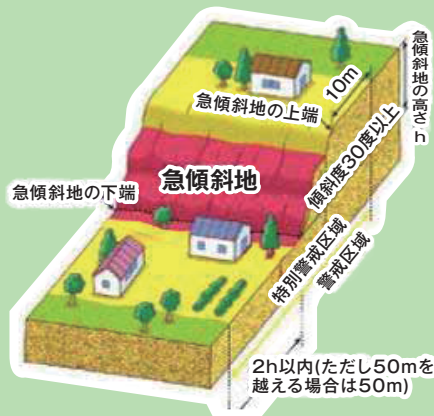
地下水等の影響により、
斜面を構成する土塊が
下方に大きく滑り出す現象

こんな現象を確認したら、早めに避難しましょう！

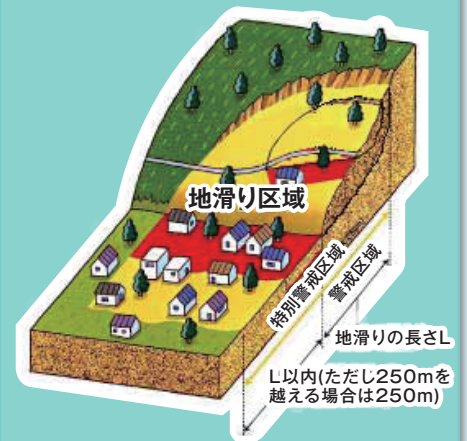
- ・川の流れが異様に濁る
- ・地鳴りがする
- ・雨が降り続けているのに、
河川の水位が減少する



- ・斜面に亀裂が入っている
- ・斜面から水が噴き出す
- ・小石等がばらばら
落ちてくる



- ・樹木や電柱が傾く
- ・地面にひび割れが出来る
- ・沢や井戸の水が濁る



土砂災害警戒区域とは

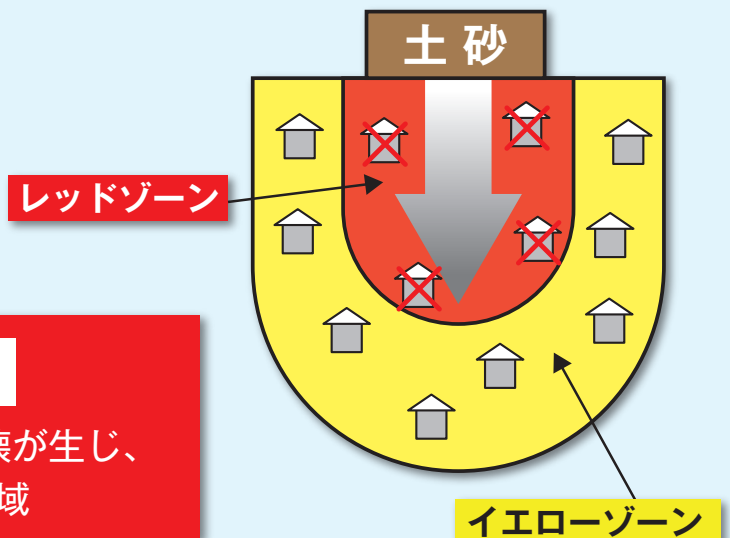
山形県では、土砂災害への注意が必要な区域として「土砂災害警戒区域」を指定しており、長井市では現在69箇所が指定されています。

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合に、
住民に危害が生じる恐れのある区域

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、
住民に著しい危害が生じる恐れがある区域



災害用伝言ダイヤル(171)

大災害時には、電話が繋がりにくい状況が数日間続きます。そのためNTTでは、災害時に限定した「災害用伝言ダイヤル」を提供しています。これは、被災地の方と安否状況等を確認するための「声の伝言板」です。

ご利用イメージ



※毎月1日、15日が体験利用日となっています

災害用伝言板(web171)

大災害時発生時、被災地域の住居者がインターネットを経由して「災害用伝言板」にアクセスし、伝言情報(文書)を登録できます。登録された伝言は、全国から確認することができます。

パソコンはもちろん、スマートフォン、携帯電話でも利用可能です。

伝言の登録・確認のイメージ



利用する場合には、「利用者登録」をする必要があります。設定の方法は、各電話業者ごとに異なりますので、ホームページ等でご確認ください。

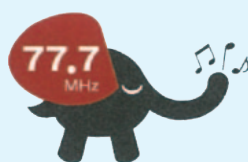
非常持出品 最低限必要なもの

災害後に避難するときに、すぐ持ち出せるようにしておきます。避難時に両手が使えるようリュックタイプの袋にまとめましょう。



飲料水・非常食 調理せずそのまま食べられるもの	貴重品	救急医療品	情報・照明	衛生用品	その他
☐ 飲料水 (ペットボトル) ☐ 乾パン・クラッカー ☐ 缶詰 	☐ 現金 ☐ 預貯金通帳 ☐ 印鑑 ☐ 免許証 ☐ 健康保険証 ☐ 住民票のコピー ☐ 鍵(自宅・車など) 	☐ ばんそうこう ☐ ガーゼ ☐ 包帯 ☐ はさみ ☐ ピンセット ☐ 消毒液 ☐ 風邪薬 ☐ 胃腸薬 ☒ ★持病のある人は常備薬 	☐ 懐中電灯 (できれば1人に一つ) ☐ 携帯ラジオ ☐ 各端末充電器 ☐ 乾電池 ☒ ※電池が必要なものは単3電池で統一しておくとしりもできるので便利 	☐ マスク ☐ タオル ☐ ティッシュ ☐ ウェットティッシュ ☐ トイレ用ペーパー ☐ ビニール袋 ☐ 着替え ☐ 下着類 ☐ 洗面用品 ☐ 生理用品 	☐ ヘルメット ☐ 軍手 ☐ 万能ナイフ ☐ アルミ保温シート ☐ スリッパ ☐ ライター ☐ レジャーシート ☐ 雨具 ☐ 使い捨て食器類 (箸・皿・コップなど)

おらんだラジオ（77.7MHz）では、 防災情報・災害時緊急情報を 発信します。



エフエムい〜じゃん

おらんだラジオ
77.7 MHz

災害時には、おらんだラジオにチャンネルを合わせてください！

おらんだラジオでは、地域情報や観光情報の発信のほかに、災害情報の発信を大きな目的としています。日ごろから防災情報を発信し、災害発生時には緊急情報を最優先で放送します。

おらんだラジオ

（タスビル3F）



警報が
発表され
ました

情報を提供

長井市役所

（災害対策本部）



〇〇地区に
避難勧告を
発令

長井警察署

交通事故・交通規制、
その他事件等情報



西置賜行政組合

（消防）

火災
その他危険情報



情報
発信

緊急時は市役所から
直接放送が可能

発信する情報の例

気象情報

大雨警報が発令、
今後も降り
続く模様



避難情報

〇〇地区の方は、
〇〇へ避難して
ください



火災情報

〇〇で火災が
発生して
います



緊急地震 速報

大地震
です！

クマ出没

〇〇地区で
クマが発見
されました



交通規制

交通事故のため
〇〇線は
通行止です



国民保護

ミサイルが
発射されま
した

